

4 思いついたことを、できるところから、みんなで、どんどんやろう運動

府立陶工高等技術専門学校

【概要】

「職場が良い雰囲気の中で、職員一人一人の意欲、能力が最大限発揮され、業務改善が進んでいくこと」をイメージし、校内で運動を展開。専門学校や京焼・清水焼についてのPR動画の自主制作、小学生向け陶芸体験教室の開催など、既に41件の職員アイデアを具現化しました。

身近なことから職員の自発的な発想を活かしながら、管理職職員や一般職員、臨時職員、訓練生までもが一体的に課題に取り組むことで、職場に一体感が生まれ、身近な業務改善が進んだ事例です。

背景

- ◇ 平成18年4月に策定された「第8次京都府職業能力開発計画」に基づく「高等技術専門学校活性化プラン」の中で、訓練科目の再編と見直しの方向が示されました。本校については、訓練科目と定員等の見直しが記載されています。これを受けて、平成21年度から取り組んでいるのが、「思いついたことを、できるところから、みんなで、どんどんやろう運動」です。

目的

「職場が良い雰囲気の中で、職員一人一人が意欲と能力を最大限発揮し、業務改善を進めることにより、府民サービスの向上を目指すことです。」

取組

- ◇ 運動の発端は再編ですが、職場の中にもともと現状に甘んじるのではなく、改善できるものは前向きに取り組もうという機運がありました。
- ◇ 一人一人の職員が業務に関して、「ちょっとこうしたら良いのになあ」と思いついた事柄を、否定的な要素はあまり考えず、とりあえず採り上げます。それは、正式な会議の場でなく、雑談の中でもかまいません。また、この時点では、誰が主体となってやるのかもはっきりさせません。
- ◇ 良かれと思ったことですが、「いつまでに絶対やらねば」という切迫観にとらわれることはありません。職員が自発的に無理のない範囲で、できるところから取り組んでいきます。
- ◇ 最初は、やる気のある人が中心となって、引っ張っていくこととなります。その後、

できるだけ職場全体で取り組むことにより、一体感が生まれてきます。

- ◇ 楽しく、また、やらされているという感じもなく、身近な業務改善の成果が次々に上がることによって、さらに、やる気が高まっています。

効果

- ◇ 訓練カリキュラムにおいては、業界の優秀な技術者による実習、茶道実習及び登窯焼成体験を新設しました。
- ◇ 在職者訓練においては、茶道科及びいっちゃん科のほか、ロクロ科（大物コース）を新設しました。
- ◇ 入校生の確保に向けては、募集要領送付先の見直しのほか、直接、大学教授への働きかけなども行いました。
- ◇ 就業対策としては、求人依頼先の見直し、訓練生へのきめ細やかな情報の提供などを行いました。
- ◇ 入校選考においては、本校にふさわしい選考方式に改善しました。
- ◇ 施設改善においては、会議室の簡易茶室への模様替え、階段部分へのフットライトの新設、トイレの洋式化、ガス窯、窯業排水施設の整備等を行いました。
- ◇ 新設された多目的実習室においては、小学生などの陶芸体験教室を開催したほか、オープンキャンパスや在職者訓練などでも活用しました。
- ◇ 広報の強化のためには、本校ホームページの改良、陶校同友会のホームページ立ち上げ、新たなPR動画の制作などを行いました。



茶道実習



小学生などの陶芸体験教室



PR動画の1シーン

現在

- ◇ 「思いついたことを、できるところから、みんなで、どんどんやろう運動」は、平成23年度で終了したわけではありません。現在も、思いついたことは職場の中で披露し、できることは積極的に取り組むようにしています。この3年間、運動を続けてきたこと

により、職場の一体感が増し、雰囲気も良好です。先般も、本年度のオープンキャンパスに係る職員会議を持ち、前年度からの改善点について、積極的な意見が出ました。そして、意見の言いつばなしではなく、職場が一体となって、提案されたアイデアを実行していこうとしています。今年のオープンキャンパスを楽しみにしてください。

振り返りと今後の課題

◇ これまでに提出されたアイデア数とその実施状況は下表のとおりです。

年度	区分	アイデア数	実施年度				24年度以降 に実施ほか
			21年度	22年度	23年度	小計	
21年度	新規	12	4	3	1	8	4
	改善	12	8	3	1	12	0
	小計	24	12	6	2	20	4
22年度	新規	13	—	11	1	12	1
	改善	0	—	0	0	0	0
	小計	13	—	11	1	12	1
23年度	新規	15	—	—	8	8	7
	改善	2	—	—	1	1	1
	小計	17	—	—	9	9	8
総計		54	12	17	12	41	13

◇ 上表に記載のとおり、54件のアイデアの内、41件は具現化しました。残り13件の内、改善に関するもの1件は、24年度に取り組む予定です。また、新規関連の内6件は、24年度に実施すべく、本校の運営目標にも設定しています。問題は、これまでに実施できなかった6件です。実現可能性をあまり考慮しない思いつきだから、仕方なかったというわけではありません。一応、実施に向けて動き出したものの、壁が高すぎたというのが現実です。しかし、これにくじけていては何も前に進みません。変化の激しい時代ですので、今後も新規・改善のアイデアを出し合い、「思いついたことを、できることから、みんなで、どんどんやろう運動」を推進していきたいと考えています。

企画総務課コメント

今年度の優秀賞を獲得した事業です。

65年の伝統を持つ学校で、笑い声が聞こえる職場をめざして行われた業務改善の取組です。自発的に、無理のない範囲で、身近なことから取り組んだことで成果が見やすく、それによって職員のやる気との満足を引き出したということが成功の秘訣ではないでしょうか。また、学生さんも巻き込んで取り組んだことで、学校全体の取組となったこともよかったのだと思います。

54件のアイデアが出され、そのうちの41件が実現したもの、残り13件も24年度に取り組み、改善のアイデアを出しながら進めていくとのことで、今後さらに改善がすすみ、職員の絆が深まっていくことでしょう。「できることからやる」ということは、どこの職場でも真似できる取組なので、是非全庁に広げていきたいと思います。